



6月15日(金)、江奈湾で、剣崎小6年生が1年生に教える形で磯観察が行われました。6年生の目的は、1年生にグループ行動やルールを教え、磯観察を成功させること。また、1年生の目的は、さまざまな生きものがあることを知ることでした。「生きもの大きさや、形などの違いがあるか、見て、さわることを頭に入れて磯観察をしましょう」と6年生の言葉を1年生は真剣な表情で聞いていました。(一度前もって江奈湾に下見に行き、1年生への教え方を考えたそうです)

磯に到着した際にも、「知らないものを見つけたら、6年生に聞いてください」「グループ行動の6年生から離れないでください」「具合が悪くなったら近くの人に言ってください」と、1年生に向けて注意をしていました。

6年生と1年生はペアで磯観察。イソガニ、ピッコタン、ヤドカリ、ムラサキウニなど、様々な生きものを発見し、穴やすきまに潜んでいる生きものを捕まえるたびに歓声があがっていました。また、起伏があり、細長く歩きづらい磯でしたが6年生がうまくリードをしていました。



「雨が降ってきたので5分後に終了!」と天気の様子を見た先生の声に「えーっ!?!」と名残惜しそうな声。「最後には雨が降ってきましたが、お天道様が我慢してくれたおかげで磯観察ができました。感謝しましょう!」との校長先生の声に、子どもたちは大きい声で「はい!」と返事をしていました。6年生、1年生の学習目的が達成され、大成功の磯観察だったと思います。



6月28日(木)に山形県鶴岡市の加茂水産高校で行われた山形県海洋教育研究会に、高梨指導主事と事務局長渋谷の2人で参加し、三浦市の海洋教育の紹介をしてきました。この研究会は、なんと70年の歴史があるそうです。海辺の町で、古くから海洋教育が行われていたんですね。



総会の中では、東京大学海洋アライアンスの及川先生のお話がありました。持続可能な開発目標(SDGs)と海洋教育、海洋教育の7つのリテラシー、そして地域で構築する防災ネットワーク等について、示唆に富んだお話でした。内容に興味がある方は、渋谷までご連絡ください。



加茂水産高校は、全国に46ある水産関係の学科を持つ高校の一つだそうです。(もちろん海洋科学高校も入っています)すぐ隣には、山形県水産試験場や鶴岡市立加茂水族館(世界一のクラゲ水族館です)があります。水族館のすぐ近くの崖には、イワユリの群生が見られました。



(文責 事務局長 渋谷)